

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	地域教育力ネットワーク推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	青少年	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
子どもたちが、同世代また様々な世代間との交流を通して、地域活動に主体的に参加し、豊富な生活体験、社会体験、自然体験を積み重ね、「生きる力」をはぐくむ教育環境が整えられています。		子どもたちの生きる力を育むため、各地区において、世代間交流、体験事業等を実施するほか、こどもサポート看板の設置、パトロール等の共通事業を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地域教育力ネットワーク各地区協議会事業数(平成26年度から)			単位	事業
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績		38	39		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	こどもサポート看板設置件数			単位	件
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	2,046	2,058	2,079		
成果指標②	指標名	各地区協議会事業における児童・生徒の参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	3,669	3,823	4,044		
進捗状況	①: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
各地区では、子どもたちの主体的な参加を通し、世代間の交流、生活体験、自然体験を積み重ね、「生きる力」を育むため、様々な事業が実施されました。通学合宿では、集団生活の中での自主性、協調性を、防災キャンプでは、災害体験学習を通じて防災に関する知識を、カルタ大会では郷土愛を育むことやルールを重んじる姿勢が培われました。また、こどもサポート看板の設置、管理やパトロールは全地区で実施され、子どもたちを見守る活動が進められました。						
平成27年度の検証結果	A: 成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	子どもたちが地域社会へ主体的に参加し、様々な世代間交流、体験活動を積み重ね、生きる力を育むために、青少年関係団体や学校等で組織する地域教育力ネットワーク協議会は必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	平成9年の発足以来、取組みが確実に定着してきました。地道な取組みの継続により、子どもたちの地域社会への主体的参加が図られ、家庭、学校、地域のネットワークが作られています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	取組みが子どもたちの生きる力を育むことに繋がっているのか、定例会、役員会や全体研修会を通じて情報交換や検討を重ねており、支援は妥当であると考えられます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	各地区の協議会が主体的に事業を実施しているので、職員は会議や研修会等に参加するだけで、活動に対しては助言のみをしています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 各地区協議会がそれぞれの事業を実施する際、子どもたちがより主体性を持って積極的に関わられるよう、事業の進め方について改めて検討してもらう必要があります。また、新規事業の実施について、各地区に検討してもらう必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	1,800	1,800	1,800
事業費 (A)		1,800	1,800	1,800
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 各地区協議会組織の活性化、活動の充実について、定例会や研修会で情報交換しながら検討していきます。また、より多くの地区で子どもたちが芸術文化活動を体験できるよう働きかけていきます。
課長コメント 各地区協議会では子どもたちの「生きる力」を育むために、通学合宿やカルタ大会など様々な体験活動が実施されています。また、子どもたちが芸術文化を体験できる教室も拡がっており、さらなる充実に向けて今後も継続し支援していきます。